

黄団 3-3・2-1・1-4

初めての体育祭準備では、何をしていたかわからない一年生に的確に指示をしている三年生の姿が印象的でした。一年生は少しだれていたところもあるのに対して三年生は自分たちがやっていることに誇りを持っているように見えました。

そして、始まった体育祭初日。天候が雨だったため体育館でできる競技のみをやりました。競技をしていて感じたことは三年生の気迫あふれる応援に驚きました。三年生は最後の体育祭なので気合いの入りがほかの学年よりもはるかに違うことがわかりました。競技一つ一つに真剣に取り組む姿は憧れてしまいました。先輩の姿を見習わないといけないと思いました。競技では、大縄跳びが一番印象的でした。ほとんどの学年が練習時間が少ないなかで一人一人が真剣に大縄跳びをしている姿がとても印象に残りました。

体育祭準備と本番初日を終えて、体育祭を行うためにはいろいろな準備が必要ということがわかりました。中学と違いゼッケンを一から作ったり、衣装を作ったりと今までにない体験ができました。初日の競技では黄団がまとまっていた。これが高校の体育祭だと身にしみて感じました。そして、全員が明日も頑張ろうという気持ちになれた瞬間だったと思いました。

1-4 中岡レポ



練習のダンスを楽しく踊り覚えようとする黄団のダンスパートの生徒。見ているこちらも楽しくなってきました。

体育祭一日目は体育館で、二日目は運動場で開催されました。一日でグラウンドの水がなくなり運動場で開催できて良かったです。二日目の最初の競技は二人三脚でした。それぞれの選手が互いに息を合わせて走る姿はとても凄かったです。続いての種目であるHR対抗リレーは生徒の半数以上が盛り上がるほどの熱さでした。私は応援でしたが、走っている選手と同じように「負けるか!」と、とても大きな声で応援をしていました。5色綱引きはとても力が強そうな選手が多かったです。そして出場した皆からは絶対に負けないぞという気迫を感じました。勝利を収めたチームはどっこも喜びがあふれていました。競技の最後を飾る団対抗リレーはどの競技にも負けないほど皆が熱く、一つになったと思います。一人抜かすたび歓声が上がリ、抜かされるたびに応援の熱が増す。皆が楽しめる競技でした。

私は二回目の体育祭ですが、今年の体育祭は去年より楽しく、熱くなりました。だから来年の体育祭は今年を超えるものになるようにしたいです。

2-1 左近レポ



準備期間中の取り組みはバックの仕事では一日目は順調に下書きを書き、二日目の色塗りができていたが三日目から思うような色が作れず少し作業が遅くなっていた。しかしバックの人たちの頑張りもあり準備期間中には完成していた。またゼッケンは流れ作業風に作業していてかなり順調に進んでいたように見えた。

体育祭二日目の集団パフォーマンスはみんな笑顔で踊りもまとまっていた、声が出ていてとてもよかった。

最後の体育祭は雨が降ったり少し生徒と先生がぶつかったりしたが体育祭本番ではみんなが全力でグラウンドを走ったり応援席でとても大きな声で応援していたりとても熱いものでした。黄団は総合優勝がとれてとてもよい高校最後の体育祭になりました。

3-3 田中レポート



報道委員 News
2011.7.22発行